

グループ会社が業界最安値のデジタコ「デジカー」を販売 運送会社の導入負担少なく、データのオープン化にもこだわり

「GSE(グローバル・サプライチェーン・エンジニアリング)」を企業ビジョンに掲げる富士ロジテック(本社・静岡市、鈴木庸介社長)——。このほ

デジタコ「デジカー」

協力会社と協同開発した業界最安値のデジタコ「デジカー」を販売開始した。デジタコの装着

義務化の対象車両が4月から拡大したことを受け、運送会社の導入負担が少ない低価格なデジタコを市場に投入していく。

国土交通省ではさらなる交通事故削減のため、4月から運行記録計の義務付け対象を「車両総重量7ト以上、最大積載量4ト以上」に拡大した。4月以降、新車購入に際して適用され、来年4月以降にはその他の車両について順次適用されることになるため、デジタコの「特需」が見込まれている。

しかし、運送業界は長期化する料金の低迷、

ドライバー不足の深刻化など経営環境がますます悪化しており、とくに中小運送会社は安全対策へのさらなる投資が難しい状況にある。これらを踏まえ、富士ロジ・エンジニアリングでは低価格化とデータのオープン化にこだわったデジタコの市場投入を目指した。

ハードウェア開発でメカトロックス(福岡)、ソフトウェア開発でネットシステム(名古屋)との協業により、車載器1台あたり2万9800円(税抜き)の業界最安値を実現したデジタコ「デジカー」を商品化。富士ロジ・エンジニアリングでは6月中旬から発売を開始し、夏頃をメドに国交省の認定取得を予定している。

国交省認定取得に必要な「時間・距離・速度の記録」に機能を絞り、SDカードの記録をBluetooth4.0を使ってスマートフォンなどのモバイル端末に送り、サーバーでデータの蓄積も可能。将来的にGPSや運行管理システムと連動させ、運行記録データを基に業務の改善に活用できる。

富士ロジテックでは今年3月の機構改革で「開発本部」を新設。同本部との連携のもと、R&Dの実働部隊である富士ロジ・エンジニアリングでは、市場のニーズを調査しながら、労働力不足の解消や物流の高付加価値化のソリューションとなるハード・ソフトの物流機器等の開発に取り組む。

問い合わせは、電話03-3273-6025、メールアドレスsales@fi-engineering.jp。

物流関連の映像制作は業界実績ナンバー1の当社まで!!

carbo@carbo-news.co.jp